

【ACKG 重点化プロジェクト 79件以上実施を計画】

重点化プロジェクト 79件以上実施を計画

ACKG

ACKGグループは、2018年9月期の重点化プロジェクトの実施方針を明らかにした。事業拡大に向けて現時点で79件以上の実施を計画している。前期（17年9月期）は78件を実施しており、高止まりしている状況だ。内訳はインフラ保全・運営管理が25件、防災が19件、交通（高度化・総合化）と地域活性化が各11件、海外新規開拓が8件など。28日に開いた17年9月期決算説明会で野崎秀則社長は、

「堅調に推移している。どんどん伸ばしていきたい」と力を込めた。

18年9月期の売上高は前期比0・9%増の475億円を見込む。このうち海外が0・3%増の160億円、国内公共が1・6%増の250億円、国内民間が0・2%減の65億円と設定した。国内公共は堅調、国内民間、海外は横ばいとしている。また、営業利益は4・6%増の15億円、経常利益は7・6%増の14億9000万円、純利益は3・2%増の8億8000万円を予想し、売上高、すべての利益で過去最高を更新する見通しだ。